

# 第8回全国自給飼料生産コンクール受賞者の概要について

令和4年3月14日

一般社団法人日本草地畜産種子協会

## 1 趣旨

全国自給飼料生産コンクールは、飼料基盤に立脚した畜産を推進するため、自給飼料の効率的な生産及び利用技術並びに放牧等の環境に調和した持続的な生産・経営方式等優秀な事例を表彰し、これを広く紹介することにより、畜産経営における飼料基盤の重要性を啓発し、畜産農家の経営の安定に資するものです。

## 2 選賞

第8回全国自給飼料生産コンクールは厳正な審査の結果、次のとおり農林水産大臣賞1点、農林水産省畜産局長賞2点及び一般社団法人日本草地畜産種子協会会長賞1点を選賞しました。

受賞名	出品財名		受賞者名	
農林水産大臣賞	飼料生産部門	飼料作物 の部(単 年生の飼 料作物)	飼料生産受託組織 熊本県 菊池市	株式会社 アドバンス 代表取締役 永田 浩徳
農林水産省 畜産局長賞	放牧部門		畜産経営体・酪農 北海道 滝上町	長屋 辰之介
	飼料生産部門	永年牧草 の部	畜産経営体・酪農 群馬県 嬬恋村	横沢 宏一
一般社団法人 日本草地畜産種子 協会会長賞	飼料生産部門	飼料作物 の部(単年 生の飼料 作物)	飼料生産受託組織 岡山県 笠岡市	農事組合法人 干拓コントラ 代表理事 山中 誠

## 3 表彰

農林水産大臣賞状(1点)、農林水産省畜産局長賞状(2点)及び一般社団法人日本草地畜産種子協会会長賞状(1点)を授与するとともに、副賞を贈ります。

副賞は、日本草地畜産種子協会が取り扱う優良品種のうちから受賞者の皆様方の地域に適した牧草・飼料作物・飼料稲の種子ほかです。

## 4 受賞事例の概要

### 【農林水産大臣賞】

株式会社アドバンス 代表取締役 永田 浩徳（熊本県菊池市） [飼料生産受託組織]

熊本県菊池市の株式会社アドバンスは、地域の飼料畑の集積を進め、トウモロコシの二期作による高品質自給飼料生産を行い、それを材料とする発酵 TMR を供給することで地域の酪農経営を支援する大規模自給飼料活用型 TMR センターです。トウモロコシ生産においては ICT を活用しつつ二期作栽培を行い、収穫を行うコントラクター組合と連携して高品質なサイレージを調製しています。製造した発酵 TMR は乳牛のみならず肉牛にも利用され、利用農家の労働負荷軽減と高品質で低価格な飼料供給を実現しています。利用農家の飼養管理技術の向上が認められるだけでなく、地域畜産業へ貢献しています。

### 【農林水産省畜産局長賞】

長屋 辰之介（北海道滝上町） [酪農経営]

北海道滝上町の長屋辰之介氏は、家族経営において放牧と TMR を組み合わせた持続性に優れる家族酪農経営を展開しています。放牧を利用することで牛舎内の作業負担を大幅に軽減すると同時に TMR を活用することで、省力化と生産性を調和させた合理的な草地酪農経営モデルを提案しています。数十頭規模の家族経営をベースとした酪農経営の持続的な発展につながり、地域産業としての酪農業の普及を図る中心的存在となっています。

横沢 宏一（群馬県嬭恋村） [酪農経営]

群馬県嬭恋村の横沢宏一氏は、火山灰地でありながらも、冷涼な気候を活かしたチモシーとリードカナリーグラスを組み合わせた高品質の粗飼料（乾草）生産によって、粗飼料自給率 100%以上を達成しています。18ha の牧草地でワンマンオペレーションによる乾草生産体系を構築しており、地域の特性を活かしたゆとりある自給飼料生産の可能性を示すものです。

### 【一般社団法人日本草地畜産種子協会会長賞】

農事組合法人干拓コントラ（岡山県笠岡市） [飼料生産受託組織]

岡山県笠岡市の農事組合法人干拓コントラは、市街地関連の諸課題を抱えながら、干拓地における粗飼料生産に取り組むコントラクターです。干拓地の延べ 468ha の飼料作を担うコントラクターで、都府県型の大型酪農経営における粗飼料供給と環境問題の解決をトウモロコシ二期作の活用によって目指しています。研究熱心な若い後継者集団がコントラクターとしての活動によって、大規模酪農経営でありながら、自給飼料を最大限活用して、地域酪農を牽引しています。